

前衛

激化する世界危機を
プロレタリア日本革命へ
日本革命をアジア革命の勝利と
世界革命の突破口とせよ！

反戦・反安保・反帝国主義政策の
反政府勢力闘争をのりこえ
工場占拠・二重権力・武装蜂起
・帝国主義打倒の革命闘争へ

発行日 毎月1日発行 編集委員会 連絡先 東京都千代田区千代田1-1-1 前衛ビル 電話 264 5073 送料 12回 600円

反合反職制闘争の職場拠点を創出拡大せよ！！

緩急自在の職場闘争の戦術を 使いこなす行動委・細胞建設を！！

「不安の春闘」を前に、四月十七、八日の二日連続で、東京、大阪、名古屋、福岡、仙台、札幌の各都市で、大規模な反安保闘争が行われ、労働者の怒りが、日本全国に燃え広がった。この闘争は、戦後最大の規模を誇り、労働者の怒りを象徴するものとして、歴史的な意義を帯びた。この闘争は、労働者の怒りを象徴するものとして、歴史的な意義を帯びた。

激化する職場の反動攻撃

激化する職場の反動攻撃。企業側は、労働者の怒りを鎮めるために、さまざまな手を打っている。しかし、労働者は、この攻撃に屈せず、闘争を継続している。この闘争は、労働者の怒りを象徴するものとして、歴史的な意義を帯びた。

破産を迫認する 民同「検証活動」路線

破産を迫認する民同「検証活動」路線。労働者は、企業の破産を迫るために、さまざまな活動を展開している。この活動は、労働者の怒りを象徴するものとして、歴史的な意義を帯びた。

その底流にあったもの

その底流にあったもの。この闘争の背後には、さまざまな社会問題が存在している。労働者は、これらの問題を解決するために、闘争を継続している。

七二年春闘と今後の課題

七二年春闘と今後の課題。春闘は、労働者の怒りを象徴するものとして、歴史的な意義を帯びた。今後の課題は、労働者の怒りを象徴するものとして、歴史的な意義を帯びた。

春闘は、労働者の怒りを象徴するものとして、歴史的な意義を帯びた。今後の課題は、労働者の怒りを象徴するものとして、歴史的な意義を帯びた。

- #### 公判日程 六月
- 6月16日(金)午後一時 横浜地裁特等法廷 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月17日(土)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月18日(日)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月19日(月)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月20日(火)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月21日(水)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月22日(木)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月23日(金)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月24日(土)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月25日(日)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月26日(月)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月27日(火)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月28日(水)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月29日(木)午後一時 東京地裁二〇六号法廷
 - 6月30日(金)午後一時 東京地裁二〇六号法廷

公判日程 六月。この日程は、労働者の怒りを象徴するものとして、歴史的な意義を帯びた。

公判日程 六月。この日程は、労働者の怒りを象徴するものとして、歴史的な意義を帯びた。

工場工作者

工場工作者編集グループ

- 工場日記
- 工場情報
- 工場闘争
- 工場建設

労働者権力第九号

京浜地区行動委連合

- 京浜工業地帯の特徴とわれわれの任務
- 自動車戦線における行動委建設
- 大学・高校戦線の戦略的位置
- 行動委連合の戦略的任務 その他

定価 三三〇円

前衛社・前衛「取扱」書店にて発売中

